

『第1回三重緩和医療研究会』

日時 平成21年12月5日(土)13時50分～16時40分(13時20分受付)

場所 三重県総合文化センター 多目的ホール

プログラム

13:50～14:00 学術情報

「オキシコドン錠とオキノーム散を組み合わせたWHO方式がん性疼痛治療法」 塩野義製薬株式会社 学術担当

14:00～15:30 一般演題

司会 遠藤 彰(寺田病院 外科) 大野 礼子(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 看護部)

演題1:「終末期がん患者の在宅移行までの気持ちを支えるプロセス」
彦坂知里(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 看護部)

演題2:「緩和治療に行ったCTガイド下仙腸関節ブロックの経験」
増田 亨(桑名市民病院 外科)

演題3:「自立存在を支えた緩和ケアチームの関わり」
-患者の意思を尊重し、共同して実施したオピオイドローテーション-
山下めぐみ(三重中央医療センター 緩和ケアチーム)

演題4:「緩和ケアの認識～患者さんへのアンケート結果から～」
長島千恵子(寺田病院 看護部)

演題5:「当院での緩和ケアチーム立ち上げの経験」
山田結香(桑名市民病院 緩和ケアチーム 看護部)

司会 坂倉 究(さくらペインクリニック在宅診療所 院長) 井戸本 睦美(山田赤十字病院 看護部)

演題6:「緩和ケア医療における薬剤師の役割」
前川ゆか(JA三重厚生連鈴鹿中央総合病院 緩和ケアチーム、同薬剤部)

演題7:「当院における緩和ケア外来の取り組み」
廣津美恵(県立志摩病院 看護部)

演題8:「山田赤十字病院の緩和ケア外来の現状」
辻村恭江(山田赤十字病院 緩和ケア科)

演題9:「看取りに向かう家族を「ハンドブック」で支援する」
大西紀恵(いせ在宅医療クリニック 訪問看護部「えにし」)

演題10:「三重県がんに係る医療・福祉資源調査」
芝田登美子(三重県健康福祉健康づくり室)

15:30～15:40 休憩

15:40～16:40 特別講演

司会 東口 高志(藤田保健衛生大学外科・緩和医療学講座 教授)

「悲嘆の日々を乗り越えて」

聖トマス大学名誉教授 生と死を考える会・全国協議会 会長
高木 慶子 先生

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内 三重緩和医療研究会宛

(所属、参加者名、職種、連絡先を明記の上、FAXにてお申込み下さい)

参加申込・問合せ先

FAX 059-252-1383 電話 059-252-1555

※尚、当日参加費 500円徴収いたします

共催 三重緩和医療研究会 三重中勢緩和ケア研究会 塩野義製薬株式会社

後援 三重県医師会 三重県看護協会 財団法人三重県健康管理事業センター 三重県薬剤師会

三重県病院薬剤師会 三重県臨床栄養研究会 三重県医療ソーシャルワーカー協会 三重県